

## 東京都 文京区役所 様

時間外業務が発生していた議事録  
作成を自動化し、平均88分の作業  
時間を削減。最大80%の業務改善  
効果も。



### 導入前の課題

- ICレコーダーやマイクで録音した音声を、手作業で文字起こししていた
- 業務時間外にまで作業が及ぶこともあり、他の業務に支障をきたしていた

### 導入後の効果

- 24課で延べ70件の会議で活用、平均88分の作業時間を削減
- 議事録作成にかけていた時間を本来の業務に充てられるようになった

### 議事録作成のために時間外労働が生じる場合も

各課で保有するICレコーダーやマイクを使って録音した音声を、会議終了後に手作業で文字起こししていました。特に長時間の会議では、業務時間外にまで作業が及ぶこともあり、他の業務に支障をきたすケースも少なくありませんでした。部署ごとに会議の頻度や時間に差はありますが、議事録作成は職員にとって大きな負担となっていました。

### 文字起こしが自動化され、80%の効率化を達成

2020年度には「AmiVoice MinutesWriter (旧サービス／販売終了済み)」を導入し、同年7月から全庁展開を開始しました。音声認識によって文字起こしが自動化されるため、職員はその結果を修正するだけで済むようになりました。その結果、2022年度には24課で延べ70件の会議に活用し、1会議あたり平均88分の作業時間削減を達成しました。一部では、従来と比べて80%以上の効率化を実現した事例もあります。2023年度には「ScribeAssist」へ切り替えを行いました。

2023年度利用実績

**24** 課 **70** 会議

1会議あたりの議事録作成時間

**88** 分減

議事録作成業務 効率化実績

最大 **80** %以上

### 聞き直したい箇所をピンポイントで再生できる

「ScribeAssist」の導入により、職員は議事録作成にかけていた時間を本来の業務に充てられるようになりました。文字起こし結果と録音した音声が続いており、確認したい箇所をピンポイントで再生できるため、確認作業の効率と精度も向上しています。

また、「ScribeAssist」はひとつのアプリケー

ションにすべての機能が集約されているため、操作が簡単で、ワークフローも大幅に改善されました。

### 幅広いシーンで活用できる柔軟性

少人数の打合せから大規模な会議まで、シーンを問わず活用されています。打合せではバウンダリーマイク、大規模会議では収音



### 東京都 文京区役所

サービス	ScribeAssist
業種	自治体・官公庁
利用シーン	庁内外の打合せ、Web会議
導入	2020年4月

マイクやグースネックマイクを使用し、録音したデータを「ScribeAssist」に取り込んでいます。

2025年11月に主催するDXイベントでは、事例発表の音声をリアルタイムで文字化し、舞台上のモニターに字幕として表示する予定です。

## Web会議の増加にも対応

文京区では、働き方の見直しの取り組みやDXツールの普及により、Web会議が増加しました。「ScribeAssist」はWeb会議でもリアルタイムに文字起こしが可能なため、こうした変化にも柔軟に対応できている点がメリットです。

## スタンドアローン要約機能にも期待

「ScribeAssist」はスタンドアローン（インターネット接続なし）でも利用できる点が特長です。新たに実装されたスタンドアローン要約機能についても、さらなる業務効率化につながると期待しています。



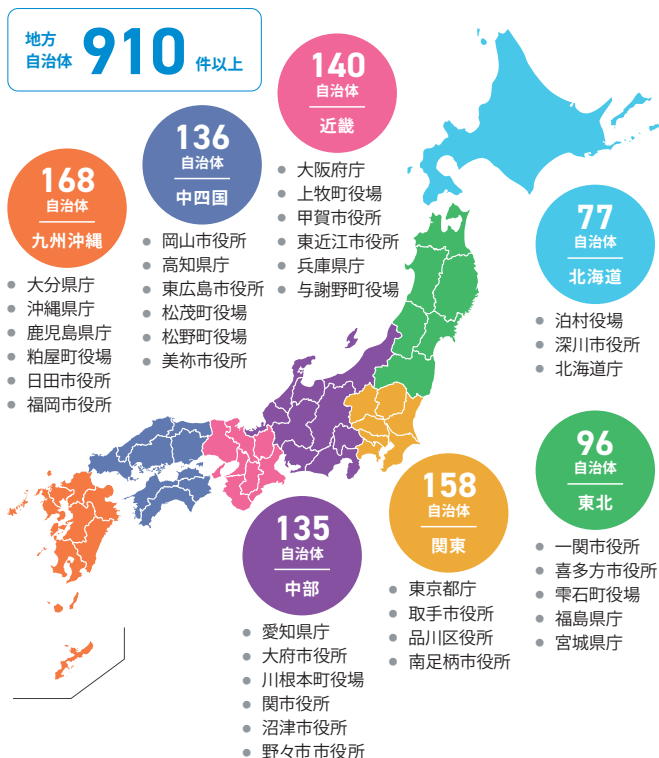
紋章



シンボルマーク

## 導入実績

2025年6月現在／議事録ソリューションの導入実績



## 製品情報

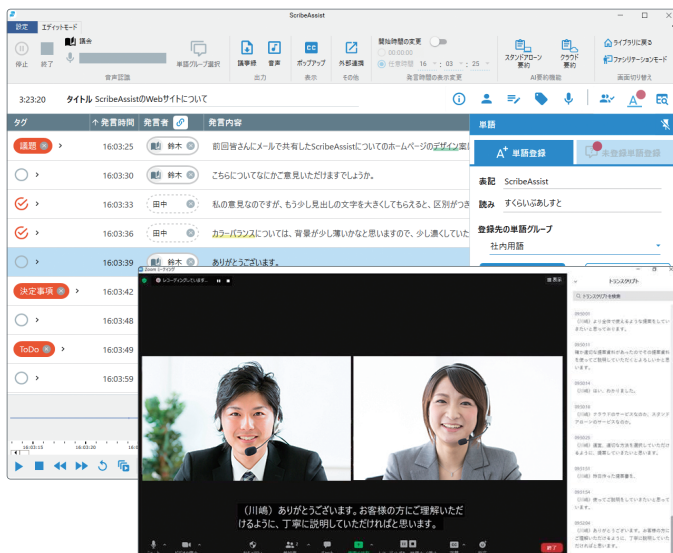


## AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist（スクライバアシスト）は、スタンドアローン型のAI議事録作成アプリケーション。インターネット接続なしで動作するため、機密性の高い会議でも安心して利用できます。

AI音声認識AmiVoice®で高精度に文字起こししたら、オフラインでも動作する生成AIが議事録形式に自動で要約。議事録作成の効率を大幅に向上します。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。



製品詳細ページはこちら

